

公孫樹 (いちょう) 7月号

～学べ 鍛えろ 夢を持て～

親切なケーキ屋さん ～終業式「校長講話」より～



あるケーキ屋さんのある日のこと、閉店前の夕方6時頃に片づけをしていると、一人の男性が慌ててお店に入ってきました。

その日は娘さんの誕生日で、朝、バースデーケーキを頼まれたことをすっかり忘れていたらしく、自宅の玄関を開けようとしてそのことを思い出し、急いでやってきたということでした。ところがその時、そのケーキ屋さんにはバースデーケーキがなかったのです。在庫があるかもしれないと、お店の人が探しましたが、どこにもバースデーケーキはありませんでした。がっかりして帰ろうとするそのお父さんを、お店の人が引き止めました。

「お役にたてるかもしれませんが、少しお時間をいただけますか？」

そう言うと、電話帳を出してきて他のケーキさんの電話番号を調べ始めました。そして、いくつか選んで順に電話をかけ始めたのです。

「今、当店にバースデーケーキをお求めになりたいお客様がおられますが、今、在庫切れですので、そちらにバースデーケーキはないでしょうか？」

電話をかけ続け、4件目にやっとバースデーケーキがあるお店を見つけると、お客さんにこう伝えたそうです。

「バースデーケーキがあるそうです。このお店なら、私どものケーキに勝るとも劣らない美味しいケーキを作っているケーキ屋さんです。」

そして、「娘さん、おいくつですか？ろうそく何本ですか？お名前は？」と聞いて、ちゃんとそのケーキさんに伝え、最後に「このお客さんがいらっしゃいますから、よろしくお願いします。」と言って電話を切ったそうです。そのお父さんは、大変喜びました。

しかも、そのお父さんがお店を出ようとする時、「お客様、少々お待ちください。私も仕事が終わりましたから、一緒に行きましょう。私なら、そのお店の場所もよく知っていますから。」と、急いで片づけを終え、そのケーキ屋さんまで送って行ったということでした。

これは本当の話です。



この話は、「人は何のために働くのか？」ということにも通じます。

ケーキ屋さん「何のために働いているか」と聞いたら、「自分の店のケーキを美味しく食べてもらうため」と考えるのが普通だと思います。でも、このケーキさんは違いました。今、目の前にいるお客さんのために自分ができることは何か。このお客さんが「喜ぶことはなんだろう」と考

えながら仕事をしていたのです。実は、商品がよく売れるお店は、こういう人が多いお店です。

このお父さんは、今度ケーキを買う時、どこのお店に行くと思いますか？紹介されたお店でしょうか？私は、きっとこのお店に行くと思います。また、「あそこのケーキ屋さんはこんなに親切にしてくれたよ。」とみんなに話し、口コミでもお客さんが集まってくると思います。自分のお店の商品を買ってもらいたいということばかり考えていても、なかなかうまくはいきません。この人は、商品を買ってもらっているのではなく、「お客さんに喜んでもらいたいという心」を買ってもらっているのかもしれないね。

さて、振り返って皆さんはどうでしょうか。自分の身近な人に対し、喜ばせたいと思って日々生活していますか？そう思って毎日を過ごしている人は、必ず世の中の人に感謝され、幸せな人生を送ることができる人だと思います。

明日から始まる夏休み。家族を含め、親戚の人、地域の人などとの「ふれあいの機会」が増える時でもあります。充実した夏を過ごし、心も体も成長して、2学期の始業式を迎えてくれることを期待します。



感動しました！林間学校&八坂祭

6月23日から3日間、2年生の林間学校でした。私(校長)が感動したのは、2年生のテキパキとした行動です。ホテル到着後の飯盒炊飯カレー作り。段取りよく進めてくれたため、予定より30分も早く終了しました。次の日のハイキングもルールを守って安全に行動してくれたおかげで、これも予定時間が30分も早かったです。すごいですね。

7月16日(日) 佐間天神社八坂祭。行田中は今年も「行中連」を組み八坂祭に参加しました。今年は南小の児童も行中連の中に入り、総勢300人余りでお祭りを楽しみました。屋台のお囃子の子も一緒に踊ってくれました。また、3年生の有志と寺田先生、馬場先生の「行中イレブン」はお神輿を担ぎ、祭りを大いに盛り上げてくれました。「行中ジャンプ」に南小も加わり、沿道の皆さんからも大声援を受けました。皆さんの頑張りにとっても感動しました。

林間学校



佐間天神社八坂祭

